

414
A 798
2

極秘
第一
陸軍

明治三十一年七月一日馬尼刺發

陸軍砲兵大尉時澤右一第二十六報告

265

5-2

一、米軍ハ今朝未別派附図ノ如キ位置ヲ取リ今猶
 ホ其ノ位置ニアリ小艇ノ屢々往來スルヲ見レハ
 上陸ヲ為シツ、アルモノ、如シ

二、米軍ハ暫ラク「マリアナ」群島中（多分「グアム」「サイパ
 ン」ノ中ナルベシ）ニ於テ休養ヲ為シタル後、當地
 ニ未レリ

三、兵數二千五百（風説及推算）ト云ヒ又三千五百（マ
 ニラ）英領事ノ言（トモ云フ兵種ハ歩兵ノミナリ

四、陸兵五千（内騎兵四百）ヲ搭載セル第二遠征隊
 今後十日内外ニ未着スベキ筈ナリト



五、馬尼刺攻撃ハ右第二遠征隊未着後、非サ
レハ開始セス

六、コシチーラフペキン号ニ多量ノ彈藥ヲ搭載セリ

七、米軍ハ「コレヒドール」島ニ九門ノ砲備ヲ爲シ且
ウ「マシ」コレスチンガ「西岬」間ニ水雷ヲ附設シテ馬
尼刺湾「ロ」閉鎖スルノ計畫アリ

八、舊「マ」銘領事(米)ノ「ウイリヤム」ハ既ニ「カヴィ」
ニ於テ民政廳ヲ開ケリ昨日未着セシ陸兵ノ
司令官タル「アルデル」少將ハ第二遠征隊ト共
ニ来ルベキ「アメリ」中將ノ未着マテ臨時民政長
官ノ職ヲ兼ネタリ

九、マリアナ群島ノ知事及ヒ官吏ハ米軍ノ捕虜ト
爲リテ来リ目下「カヴィ」ニ在リ

十、「アギ」ドハ長ク「カヴィ」ニ留マラザル可シ
十一、及叛ハ二万五千ノ小銃ヲ有スルノ風説有力者
間ニ行ハルレドモ其實際ハ前報告ノ如ク未タ
一万挺ニ達セス

十二、呂宋島北部司令官「モ子」少將ハ海路「パンカ」
(小舟)ニ乗リテ馬尼刺ニ逃レ来リシカ目下軍法會
議ニ附セラレタリ多ク銃殺ノ刑ニ處セラル可シト云
フ

曾テ「マカベ」(ハムハム州)ノ土人義勇兵隊長「ブラン」
コノ許ニ在リシ銘督ノ夫人及ヒ家族モ亦逃レ来レ
リ

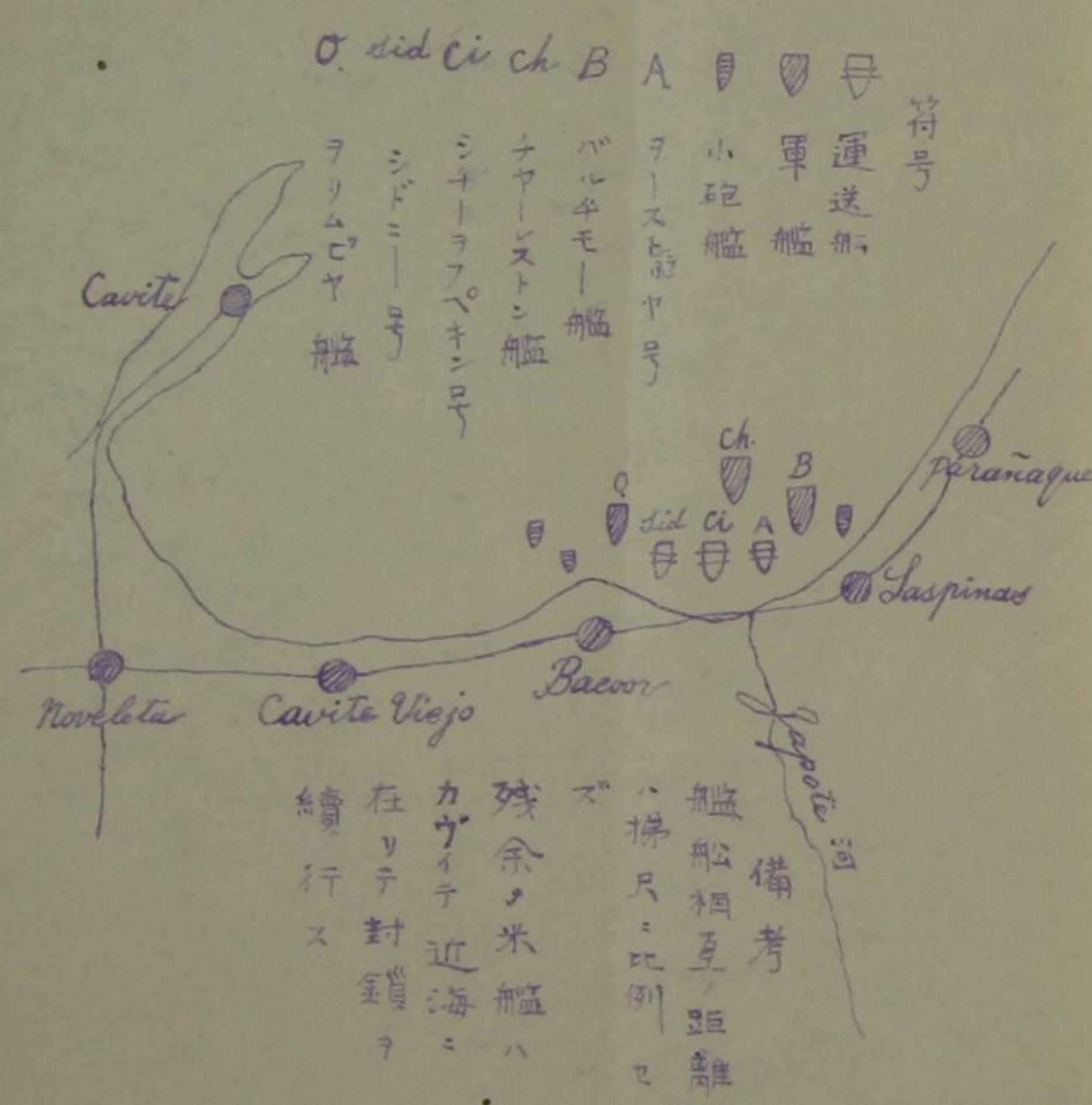
十三、昨日小砲艦一隻白旗ヲ掲ケテ湾内ニ入り来リ

米ノ鹵獲スル所ト為レリ艦名未詳多々西艦
ナル可シ

十四、隊テ「カウイ」ヲ拔錨セシ以來踪跡不明ニシテ
世人ノ疑問トナリ居タル米艦「バルチモ」ハ其實
第一遠征軍ノ迎ニ行キタルモノニシテ「マリアマテ
往キタルナラン」昨十三日嚮導トナリテ入港セリ

十五、馬尼刺市内及ヒ周囲ノ形勢ハ前日ト異ナラス
水道ハ水源地ノ器械破損シ著シク水量ヲ減シタ
リ目下午前八時ヨリ正午迄給水ス

十六、余ハ為レ得レハ第二遠征隊未着前ニ於テ米軍ニ從軍スベ
キ必算ナリ然ル時ハ最初先「カウイ」ニ到ルナラン但シ通信ニ
差支ナキニミナラス馬尼刺ニ於ケルヨリモ觀察ニ便ナルヘシ
(了)



古語云一カサイナラ
人ノ旋尚
第一速征軍
住カルル
谷
木
跡不明
...